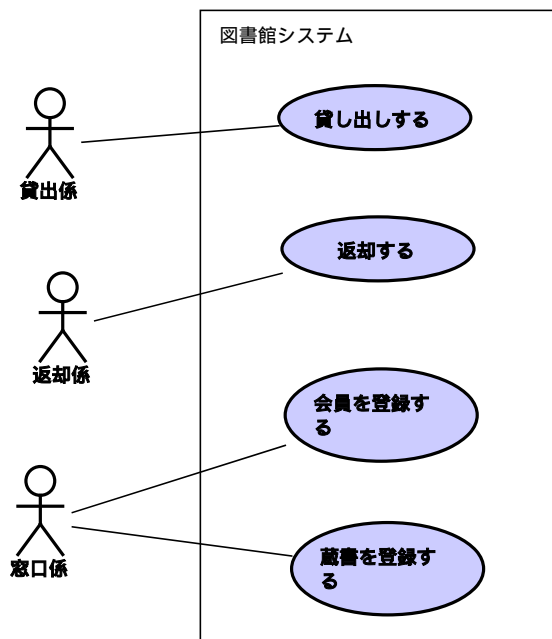


「日時」、「参加者」、「お聞きしたい内容」、「宿題」、というのはテンプレートとして毎回使うものです。
「お聞きしたい内容」は、だいたい、こういう聞き方で、

- なぜシステムを作るのですか? = 絶対ハズせない顧客要件
- 誰が使いますか? = アクターの候補探索
- 他に連携するシステムは? = アクターの候補探索
- どんな場面で使いますか? = ユースケースの候補探索
- 何を管理したいですか? = 概念クラスの候補探索

が対応しています。その他にも、話の進み具合で、どんどん枝を出します。

図書館システムユースケース



図書館システム概念クラス図

